

平成 26 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン離島・僻地病院実習

実習生：今山 直美

実習先：長崎県対馬いづはら病院

実習期間：平成 26 年 8 月 4 日（月）～8 月 29 日（金）

実習生感想：

対馬いづはら病院での実習を終えて

口腔腫瘍治療学分野 今山 直美

8 月 4 日から 29 日までの約 1 ヶ月間、対馬いづはら病院にて実習させていただきました。長崎出身であるものの、対馬を訪れるのは今回が生涯で初めてでした。対馬は平地が少なく、山に囲まれた島ですが、歴史的文化遺産が数多くあり、風光明媚な島でした。

対馬いづはら病院は、対馬の基幹病院として島内の 1 次から 2.5 次の医療を担う、幅広い症例に対応できる病院で、島内の他の病院や出張診療所等への定期的な診療応援も行なわれています。

実習内容については、内科の梶野先生に付き、外来や病棟だけでなく出張診療所や訪問診療にも同行させていただき、内科的治療について色々と教えていただく等、大変お世話になりました。対馬いづはら病院には歯科が併設されていないため歯科治療はできませんが、内科実習と並行して、ICU 管理中の患者さん、がん化学療法を受けておられる患者さん、脳梗塞等でセルフケア困難な患者さん等に対し、看護師さん方と一緒に口腔ケアを実施しました。8/26 には院内向けに、口腔ケアや医科歯科連携についての勉強会を開催させていただきました。

また実習期間中に、抗血栓療法患者における出血性合併症（歯石除去後の歯肉出血）、ビスフォスフォネート製剤や骨修飾薬による顎骨壊死など、歯科的対応の必要な症例に複数例遭遇しました。実際に診察や処置に当たらせていただき、改めて医科歯科連携の重要性を認識しました。

月末には対馬市歯科医師会の先生方とお会いする機会があり、対馬の歯科医療の現状やこれからの歯科医療の展望等、様々なお話をさせていただくことができました。

今後がん患者さんなど有病者の診察治療を行っていくうえで、今回の離島実習は大変意義深いものでした。将来、離島医療を含め医科歯科連携および病診連携に貢献できる歯科医師になるべく、さらに研鑽を積みたいと思います。

歯科が無いにも関わらず快く実習を受け入れてくださった川上院長先生をはじめ諸先生方、病院スタッフの皆さんに、心より御礼申し上げます。

写真

対馬いづはら病院の外観：対馬いづはら病院は丘の上に位置しています。来年度には中対馬病院と合併し、対馬空港の近くに新病院が開設される予定です。



口腔ケア：院内や訪問先で、磨き方や開口保持のコツ等、口腔ケア時のアドバイスをさせて頂きました。



院内での勉強会の一コマ：8月26日、長崎大学病院で行っている口腔ケアの取り組みや医科歯科連携について、院内向けに勉強会を開催させていただきました。



烏帽子岳から見る浅茅湾：対馬は風光明媚な島で、休日は最北端から最南端まで、島の各所を観光して回りました。



医局にて、指導医の梶野先生と：実習の指導から飲み会まで、色々とお世話になりました。



院長室にて川上院長先生と：今回の実習を快く引き受けていただき、感謝しています。



実習後オリエンテーションにて

